

踐するなど、健康に留意した。一九二二(大正十一)年一月十一日八十四歳でその生涯を閉じた。

大隈重信は、右脚切断後アメリカのA・A・マークス社製の義足を装着した。以後A・A・マークス社で改良に改良を加えた義足を装着することができた。これらは当時世界で最も進歩した義足であったということができよう。

(慈恵看護専門学校)

#### 41 遠藤培地の創製者・遠藤<sup>シゲシ</sup>滋

土屋重朗

明治後期より昭和戦中・戦後まで使われた、腸チフス菌と大腸菌とを鑑別する「遠藤培地」は、日本人の創製したすぐれた培地として知られている。

遠藤培地が私立伝染病研究所で明治三十六年創製され、同年『細菌学雑誌』に発表されて、追試の結果これに勝る検査法はなく、長い間用いられてきた。そのため遠藤の名はよく知られたが、創製者の遠藤<sup>シゲシ</sup>滋とはどうゆう人か知る人はきわめて少ない。

遠藤培地の発明と原理および使用の歴史などについては『藤野・日本細菌学史』(二九八四)にくわしいが、私は主として遠藤滋の経歴と性格等についてふれてみたい。遠藤滋は遠藤周民の二男として静岡で明治三年五月九

日に生まれた。幼名を滋四郎のち滋と改めた。周民は當時静岡藩立病院の医師で、やがて病院頭林研海の招請で、陸軍軍医寮に転じ、軍医となって各地を転任した。

滋は東京で小学校を卒業し、父が明治十六年仙台へ転任したので、共に移転し、同年仙台市宮城医学学校予備校へ入学、十九年同宮城医学学校へ入学した。在学中の明治二十年同校は第二高等学校医学部と改称、二十三年同校を卒業した。卒業後二十七年九月まで、父が退役後開業していた興津町で一緒に開業した。

なお滋の兄の洋は明治十五年東京帝国大学医学部を卒業し、直ちに陸軍々医部に入り、広島鎮台附となった。森鷗外たちより一期下であるが、病のため退役し、四十四歳で興津で死去した。

滋は細菌学研究のため二十七年上京し、私立伝染病研究所に入所、第二回研究生として二カ月の研修を受け、ただちに養生園に勤務し、主に結核患者の診療を行った。傍ら伝染病研究所で、院外助手として午後細菌学の研究に従った。遠藤培地の創製はこのころの明治三十六年であった。なお伝研史研究で著名な小高健氏は「所長北里

の美点の一つは志賀赤痢菌にしても、遠藤培地の場合にも、北里の名をつけないで発表させた。もしも北里の名をつけておれば『北里培地』になったおそれもある」と私信で書いておられる。

その後も滋は伝研と養生園でつとめたが、三十九年十二月、父周民が退役軍医として七十二歳で特別志願採用されたので、滋は興津で父に代って患者の診療をした。四十一年庵原郡医師会が設立された時、副会長となつてゐる。興津は風光明眉、氣候温暖であるので、滋はここに結核病院を建てる計画をした。実姉の広子は古川鉦山近藤理事長の妻（舟橋聖一の祖母）で、富裕なので建設資金は出してもらふことになつていたらしい。

ところが当時町民は結核病院というのと、伝染をおそれて大反対し、遂に目的を達することができず、四十四年二月父も帰還したので、滋は再び上京、養生園医員として、大正五年まで勤務した。同年九月養生園を辞職して、芝区車町三十六番地ですつましく呼吸器病専門医として開業した。

還暦の記念に学界・内務省衛生局等の有志が、遠藤培

地創製の功績にたいして記念式を開き記念品を送った。出席者二百名、一般新聞および医界の新聞はすべて、このかくれた一開業医の功績をたたえた。

滋は性来控え目で、人におごることなく、遠藤培地に對しても、全く偶然の結果だと謙遜していた。また論文についても学位号を請求する気持も全くなかった。ある医界の新聞は「市井開業医の中にもかかる篤学者のいることは、開業医の信用を高める」と書いている。

後年滋は高山植物に興味を持ち、その方面の論文も発表している。

昭和十二年四月二十日、六十八歳で心臓衰弱で他界した。墓は目黒の祐天寺にある。

(静岡県清水市)

## 42 新聞に見る昭和25年のシラス中毒

### 事件

—腸炎ビブリオ発見の端緒—

○長門谷<sup>(1)</sup>洋治・坂上<sup>(2)</sup>俊之

昭和25(一九五〇)年10月21日(土)、大阪府南部・大阪市を中心に、シラスを食べた二七二人に食中毒が発生、うち20人が死亡するという事件が発生した。いわゆる「シラス中毒事件」であり、死者数が多かった点でも注目されたが、原因究明の過程での中に腸炎ビブリオと命名された細菌が発見されたことで有名である。我々はこの事件を当時の新聞がどのように報じたのかを見てみた。使用したのは朝日新聞で、大阪本社より発行されたものがある。当時は頁数も少なく、夕刊もまだ再刊されていないかった。

①10月23日(月)この日が本事件報道の最初、二面トツ